

授業科目 成人慢性期看護学演習

【担当教員名】 目黒 優子、新谷 恵子 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者が、病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけながら生活できるためのセルフマネジメント支援を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 慢性疾患と慢性の病いについて説明できる。 2. セルフマネジメント支援のために必要な構成要素およびそれらを支える理論について説明できる。 3. 慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者へのセルフマネジメント支援の実際について演習を通して習得する。 4. 慢性の病いとともに生きる対象者およびその家族に対する看護者としての態度を養う。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	慢性性、病みの軌跡理論	1	講義、担当：目黒 優子		
2	セルフマネジメント	2	講義、担当：目黒 優子		
3	ヘルスビリーフモデル、アンドラゴジー	2	講義、担当：目黒 優子		
4	エンパワメント、自己効力理論	2	講義、担当：目黒 優子		
5.6	心筋梗塞後の患者の基本的看護（心臓リハビリ、回復期リハビリほか）、事例展開	3.4	講義と演習、 担当：新谷 恵子		
7～12	慢性の病いとともに生きるセルフマネジメント支援の事例展開	3.4	（糖尿病、腎不全、COPD、肝硬変をもつ対象者への支援）グループワーク、 担当：目黒 優子 他		
13.14	自己血糖測定、インシュリン自己注射	3	演習、担当：目黒 優子 他		
15	発表	3.4	担当：目黒 優子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		成人看護学 慢性期看護論 第2版	鈴木志津枝、藤田佐和	ヌーヴェルヒロカワ	2009・2,400円＋税
参考書		慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点	南裕子 監訳	医学書院	2001・3,600円＋税
		慢性疾患の病みの軌跡 とストラウスによる看護モデル	コービン ピエールウグ 編集、黒江 ゆり子 訳	医学書院	1995・2,700円＋税
		クロニックイリネス 人と病いの新たななかかわり	アイリーン・モロフ・ラブ キン、パマラ D. ラーセン	医学書院	2007・6,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 参加状況：15% レポート：25% 試験：60%		【履修上の留意点】 事例展開ができるように上記に挙げている疾患の病態生理について自己学習をして臨んでください。			